



接着部品の引張ねじり複合試験

接着した部材の強度および耐久性を評価いたします。

試験技術の概要

- 接着部材の軸方向+ねじりの複合荷重に対する評価試験
複合的な荷重に対する静的強度及び疲労寿命を評価いたします。
様々な荷重・トルクに対応する複数の試験機を有しておりますので、荷重に応じた試験機を選択が可能です。

試験概要

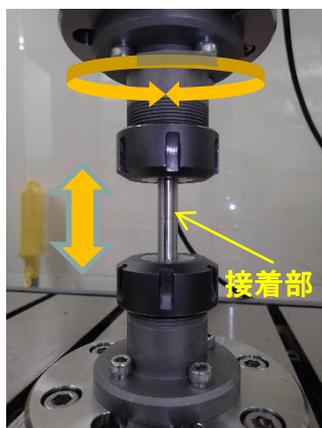
試験環境	大気中、室温（もしくは恒温槽を用いた-60℃～250℃環境下） （その他の試験環境についてはご相談ください。）
試験方法	引張繰返し負荷 + ねじり繰返し負荷 引張側一定応力で保持 + ねじり繰返し負荷 ねじり一定応力で保持 + 引張繰返し負荷 等
最大試験荷重容量	±3kN ¹⁾ 、±10kN ²⁾ 、±100kN ³⁾
最大試験トルク容量	±25N・m ¹⁾ 、±100N・m ²⁾ 、±1kN・m ³⁾

1) 3kN二軸疲労試験機 2) 10kN二軸疲労試験機 3) 100kN二軸疲労試験機

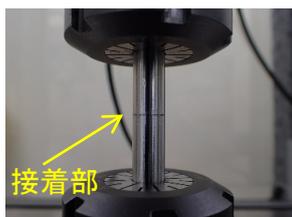
試験例



10kN+100N・m二軸疲労試験機



試験実施例

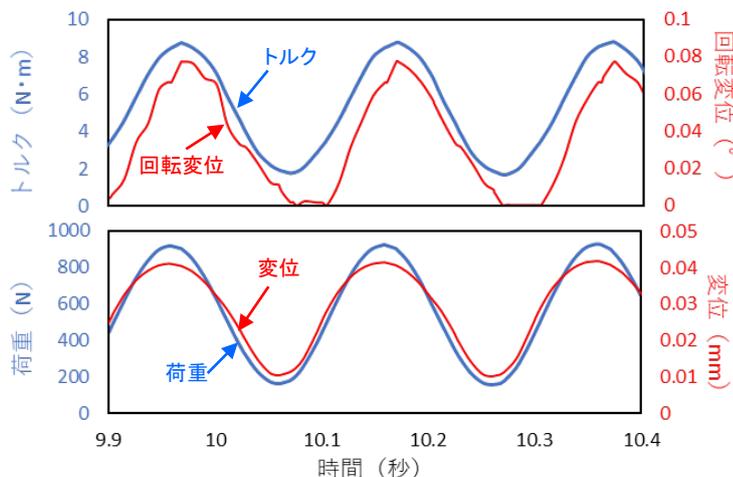


試験開始前



破断後

- ・ 引張・ねじりの同時繰返し負荷により、接着部など部材への実際の負荷に近い再現荷重を行えます（同時静的負荷も可能）。
- ・ CAE評価と組み合わせることで解析精度が向上します。



荷重、変位、トルク、角度変位の推移(例)